

## 就職内定者に聞きました

今年度、経団連加盟企業を中心に、3月エントリー開始、6月選考開始というスケジュールとなった学生の就職活動の現状について、来春に卒業予定の内定者の声を聞いてみました。

1. 就職活動で一番大変だったことは何ですか？
2. 内定先を決めた一番の理由は何ですか？
3. 就職先で活かせる自分の強みのうち、中央大学で培われた活動は何ですか？
4. 新社会人になる自分に向けて期待すること、目標は何ですか？



法学部 政治学科  
石戸谷 舞さん  
内定先：日本航空 業務企画職（地上職事務系）

1. 志望業界のOB・OGの方を見つけること。就職活動をする上でOB・OG訪問をととても重要視していましたが、私が志望していた航空業界総合職のOB・OGがなかなか見つからず、苦労しました。他大学の友人のツテ等を用いて連絡を取り合うことが多かったです。
2. OB・OG訪問や選考を通して、社員の方々の人柄や社風に魅力を感じたからです。航空会社で働きたいという気持ち以上に、この人たちと働きたいという気持ちが大きかったことが決め手でした。
3. 学部横断ゼミ FLPでの活動や、法学部やる気応援奨学金での留学活動で培われた自主性だと思います。両者共に、自分自身で研究テーマを立案・実行するものでした。受け身の授業ではなく自主性が求められるため、とても良い経験になりました。
4. 目の前の仕事を全うすること。航空会社の最初の業務は空港での業務です。現場業務は大事な基礎になるので、どんなに小さな仕事でもしっかりと全うして、経験を積んでいきたいです。将来は外資系エアラインとの共同事業を手掛ける国際提携部で活躍できるような社員になりたいです。



法学部 国際企業関係法学科  
柵田 敬太郎さん  
内定先：株式会社日本政策投資銀行（総合職）

1. 就職活動に対するモチベーションを高いレベルで維持し続けることです。就職活動中は選考落選や、遥かに優秀な同世代との出会いなど、自信が揺らぐ機会が多く存在します。その度に気持ちを切り替え、モチベーションを高いレベルで維持し続けることが一番大変でした。
2. 金融という面から、日本経済の発展に貢献できると考えたからです。国策の大型案件を扱う一方で、地方の中小企業の支援を地域に根差して行っているなど、日本全体を盛り上げることができる点が魅力でした。
3. 法律の勉強です。中央大学の豊富な教授陣や、法職講座などの学習支援制度を利用し、論理的思考力や、事柄の共通項を見つけ応用する力を養うことができました。
4. 準備を怠らないことです。日頃の業務への準備はもちろん、急な場面に遭遇してもしっかりと対応できるよう、日々研鑽を積んでいきたいと思っています。



理工学研究科 精密機械工学専攻  
土田 航平さん  
内定先：IHI（技術職）

1. 研究と就職活動スケジュールの兼ね合いが難しく、予定が立てづらかったことです。就職活動の時期と学会活動の時期が被ったことから、出席しなかった学内セミナーに出席できなく、ESを推敲する時間を作るのが難しかったです。
2. 幼少期から大きな乗り物に興味があり、世の中に快適で安心・安全な暮らしを提供するものづくりができるメーカーであったためです。また、私の考え方や専門性を真剣に見てくれたことも決め手になりました。
3. 物事を論理的に考え、相手に伝えることです。自分の研究を進めるため、事象を論理的に考えまとめること、相手に伝えることは難しいことでしたが、この経験をしたことでそれが就職で活かせると思いました。
4. たくさんの新しいことを経験し、体験することが私の期待することです。まだ、大学で基礎の部分にしか触れていないため、これからさまざまなことに挑戦し、常に自分自身を成長できるように行動していきたいです。



理工学部 人間総合理工学科  
泉田 優花さん  
内定先：三菱電機（事務系総合職）

1. 大学の交換留学で3年生の8月～4年生の4月末まで日本にいなかったため、テストや課題が多くある期間に留学先からESを出し、帰国後に面接やテストを受けたことです。説明会に参加できず、受ける事すらできない企業もあったことです。
2. 大手なのに、一人ひとりと丁寧に向き合ってくれたことです。Web説明会やメールでも真面目で丁寧な印象を受け、そのようなしっかりとした社員さんたちと働きたいと思ったからです。
3. 交換留学のための語学の勉強や留学準備から終わった後の授業手続等の取り組みを通し、自分で計画を立て粘り強く努力できることを強みにできたことです。精神的につらい時でも、目標のために頑張れる強さを身に付けられました。
4. はやく知識を付けて信頼される社員になり、海外営業で国内外問わずバリバリ働きたいと思っています。